

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	経済企画課	
施策	22	商業・サービス業の振興	評価 責任者	及川 隆	内線 8210
小施策	22-2	ロジスティクス機能の充実	評価 シート 作成者	藤澤 勇	内線 8211

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
生鮮食品などの出荷団体や小売店などのニーズに対応した卸売市場の役割が求められており、品揃えの充実と集荷力の向上を図るとともに、公正かつ迅速な取引を確保し、消費生活の安定を図っていく必要がある。		生鮮食料品などを安定的に供給するため、出荷団体や小売店などとの連携を強化しながら、品揃えの充実と集荷力の向上を図り、活発な市場取引を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
流通業者		効率的なモノの流れが促進される。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 中央卸売市場年間取扱高	百万円	↗	当初値 (H25) 34,844   R1目標値 35,000   R6目標値 35,000		・平成29年度3月に作成した「市場活性化ビジョン2017」により、場内業者と開設者が一体となって活性化に取り組むことにより、市場の役割や魅力の発信を行うことができた。また、こども食堂への食材の提供を通じ食育の推進を図ることができた。
			<p>・「市場まつり」については台風19号の接近により中止を余儀なくされたが、市場の役割・魅力の発信と食育の推進の場である「市場体感ツアー」や「卸売市場開放デー」が定着したことによる。</p>		
問題点			⇒		
・青果部、水産物部とも取扱量・取扱高の減少傾向が続いている。			・少子高齢化・人口減少による食料消費量の減少や消費ニーズの多様化等により、卸売市場の経由率が減少していると考えられる。		
指標② 卸売・運輸・通信業者数	事業所	↗	当初値 (H25) 1,619   R1目標値 1,700   R6目標値 1,780		・平成29年度3月に作成した「市場活性化ビジョン2017」により、場内業者と開設者が一体となって活性化に取り組むことにより、市場の役割や魅力の発信を行うことができた。また、こども食堂への食材の提供を通じ食育の推進を図ることができた。
			<p>・「市場まつり」については台風19号の接近により中止を余儀なくされたが、市場の役割・魅力の発信と食育の推進の場である「市場体感ツアー」や「卸売市場開放デー」が定着したことによる。</p>		
問題点			⇒		
・青果部、水産物部とも取扱量・取扱高の減少傾向が続いている。			・少子高齢化・人口減少による食料消費量の減少や消費ニーズの多様化等により、卸売市場の経由率が減少していると考えられる。		

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<p>★ 改正市場法の施行に伴う生鮮食料品等の流通構造や流通環境の変化を注視しながら、市場活性化ビジョン2017の迅速な見直しにも順次着手する。</p> <p>★ 盛岡市公共施設総合管理計画による個別計画に基づき、市場機能の維持及び適正化を図る。</p>	
<p>★ 改正市場法の施行に伴う生鮮食料品等の流通構造や流通環境の変化を注視しながら、市場活性化ビジョン2017の迅速な見直しにも順次着手する。</p> <p>★ 盛岡市公共施設総合管理計画による個別計画に基づき、市場機能の維持及び適正化を図る。</p>	